

広報

うえだ

P U B L I C A T I O N S U E D A

平成15年
[2003]
No.1374

9.1

- 上田市役所 (☎22・4100)
(FAX 25・4100)
- 市政提言電話 (☎25・2539)
- 市政提言FAX (☎23・5111)
- 市政提言電子メール
mbyor@city.ueda.nagano.jp
- インターネット上田市のホームページ
URL <http://www.city.ueda.nagano.jp/>
(広報ほか市政情報掲載)

■データ (8月1日現在)

人	口	増減
男	121,887人	(+40)
女	59,833人	(+18)
世帯	62,054人	(+22)
外国人登録者数	45,971戸	(+36)
男	4,624人	(+17)
女	2,286人	(+1)
	2,338人	(+16)

※()内は、前月に対する増減数値

～思い出の丸窓電車～

表紙の写真は昭和61年秋の別所線を走る丸窓電車の姿です。
この年を最後に、丸窓電車は姿を消しました。
それから17年経った今、路線の存続そのものが問題になっています。
私たちにできることは何か？真剣に考える時を迎えています。

◆特集
◆お知らせ

**別所線電車利用促進シンポジウム
合併を考える市民の集い**



上田交通別所線電車利用促進シンポジウム

「地方鉄道の存在意義と地域振興に果たす役割」

7月12日(出)、上田創造館で別所線の存続について考える「上田交通別所線電車利用促進シンポジウム」が開かれました。存続問題が議論される中で開催された今回のシンポジウム。別所線の現状についてさまざまな角度から発言がありました。

講演 「地方鉄道の復活と 地域社会の責任」



講師 今城光英さん
国土交通省「地方鉄道問題に関する検討会」副座長を務める。地方鉄道経営に関する提言をしている。

地方鉄道の問題が非常に大きくクローズアップされたということは、おそらく戦後初めてのことはないかと思いますが、それには訳があります。

京福電鉄の事例から

福井県福井市には地方鉄道の京福電鉄がありました。平成12年・13年に相次いで事故を起こし、国からの命令で運転休止となりました。動いて当たり前だった電車がいざ止まってしまうと、

地域社会に深刻な影響を与えます。

京福電鉄が運転していたときは、輸送人員は年間360万人くらいありましたが、突然バスに代わったため240万人になりました。4割減ったわけですが、廃止された長野電鉄木島線も同じです。鉄道がバスに代わると、かなりの人が公共交通を使わなくなり、京福電鉄の場合も、バスに代わってから利用者が減り続けて、大体半分になりました。原因の一つは、お年寄りが中心市街地に行く回数を減らし、買い物などで日常的に使っていたのが、歩かなくなったのです。どこの地方都市でも中心市街地の空洞化の問題がありますが、こいつは公共交通機関が初めて初めて中心市街地が存在しうるのであり、鉄道がなくなると都市の中心部も客足がいっそう遠のきます。通学にしたいへん影響があります。

そういういろいろな負担を地域社会に強いることがあったので、結局、鉄道をもう一度復活させることになりました。しかし、これはたいへんなことで、地方鉄道の経営は厳しいため、京福は撤退することになり、新たに地域で「えちぜん鉄道」という新しい第三セクター(※1)の鉄道会社を作りました。会社設立に対して県は出資せず、市

町村と個人、民間が出資しましたが、

予想外に個人出資が多かったのです。やはりひと昔前と意識が変わり、地域に必要なものは、地域社会で守るという考え方が強くなり、住民参加が事実上かなりのレベルで進んだわけです。いったん中止した鉄道を復活させるには、当初の10年間だけでも120億円も必要でした。あって当たり前だったものが突然なくなり、それから必要性を痛切に感じて復活しなければいけないというときには、たいへんな努力とお金がかかるのです。その運転再開に必要な120億円のうち、90億円を主に安全面での設備投資として県が、30億円を10年間分の赤字補填額として市町村が、残りを民間が負担して、7月から一部スタートしました。

別所線について考える

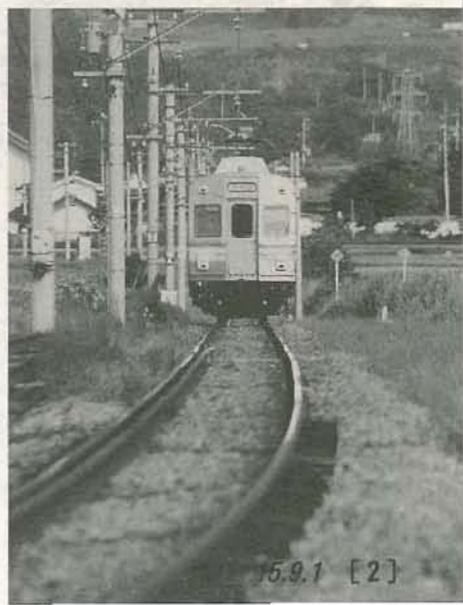
別所線というのは、かつていくつもあった鉄道路線のうちの一部分が残っているものです。上田交通の当初の基本的な考え方は線路を全部廃止することでしたが、地元住民の皆さんの力によって維持されてきました。

一般的に確認しておきたいことは、家用車の普及が非常に進行していること、少子高齢化の進展で、高校生の

通学が急に減っていることです。それから車の免許保有者がほとんど高齢化していて、運転をする方も高齢化しています。そうすると、これからは高齢者でも家用車を使う時代になってきます。その中で全国的に地方鉄道の輸送人数は減少が続いていて、別所線も利用者が増加する要素は見込めない状況であるということです。

別所線の輸送密度(※2)は1700人程度のレベルですから、どうしても一般的には赤字が出ます。「輸送密度」は、国鉄の最後のころに、国鉄の地方交通線を廃止する基準に使われたことがあって、そのときは4000人という指標が使われていました。これ以下のところが国鉄から切り離されてバスになるか、第三セクターの鉄道になるかしたのですが、この基準からさらに低いところが大きく問題になっていました。

ちなみに、しなの鉄道は8300人です。長野電鉄で3800人です。鉄道は都市にあるか地方にあるかによって全く違います。たとえば東急の輸送





8月下旬の中塩田駅。帰宅途中の学生や仕事帰りの女性の姿がありました。

密度は23万8000人です。JR東日本だと、全線を平均すると4万6000人です。けれども、輸送密度が非常に大きいのは、日本だけの特徴で、ドイツやフランスはおおよそ5000人です。

昭和54年に鉄道と自動車のシェアが逆転する現象が起こり、自動車の役割がかなり大きくなってきました。その中でいかに鉄道が役割を果たし続けるかというのが今日の問題です。機能がすべて鉄道から自動車に代わるのであればこんな議論にはなりません、100%とって代わるわけではないので、

それをいろいろ議論する必要があると思います。

現在、地方鉄道が移動手段としてとれただけ使われているかというシェアを見ると、平日で3・1%くらい、休日で2%程度しかありません。大都市では鉄道が主な役割を果たしているのはかなり違います。

そんな地方鉄道を存続していくには、何よりも基本は鉄道事業者が自助努力を徹底すること。そして、国と地方自治体が適正な関与をすることです。また、実際にそこから便益を受ける地域が一丸となって支えていく、そういう

視点が重要です。鉄道をその都市のまちづくりの道具としてどのように活用できるかという、地域とからめた視点で考えることも重要です。そして、採算の確保が相当困難なものは、存続するかどうかという基本的な意志決定を地域のみならず検討することが必要です。もちろん、費用対効果分析も考えなければなりません。

経営方式の実例

最近、路線を維持する手法として、民鉄から第三セクター化するという事例が出てきています。えちぜん鉄道(福井県)、万葉線(富山県)、くりはら田園鉄道(岩手県)などがそのケースです。それから、上下分離方式(※3)という、車両などの運行・経営と、線路などの資産の管理を分離するという考え方もあります。また、会計上だけ上下分離するという考え方で、上毛電鉄と上信電鉄(いずれも群馬県)が行っています。これは、群馬県が基本的なところは支援しています。また、三陸鉄道(岩手県)では、施設の一部を自治体を持つという踏み込んだ上下分離が進んでいます。青い森鉄道(盛岡・八戸)は東北新幹線が延びて、平行在来線がJRから切り離されたため、第二セクター鉄道として運行が始まっています。

まちづくりに電車を取り入れる

外国のケース
まちづくりの視点から電車を活用す

る例は、ヨーロッパにたくさんあります。フランスのストラスブール市(人口26万人)では、中心市街地から車を排除して、路面電車だけを入れていきます。車は郊外の駐車場に置いて、そこで路面電車に乗り換えるわけです。当初、商店街からはかなりの反対があったけれども、現在では、買い物客もたくさんやってきて相当うまくやっています。電車のデザインもよくして、魅力のある交通機関にしたことで若者も中心部に戻ってきました。少しでも自家用車から乗り換えてもらって、休日には自分の町の中心地にみながら出かけて行き、コンサートを聴いたり、地域のコミュニティの活動に参加するといったことが、ヨーロッパでは盛んになっています。それは、基本的には住民意識の変化です。住民の考え方の中から行政が動かされて鉄道も新しい形になっていったわけです。

用語の解説

- ※1) 第三セクター 地方自治体と民間が共同出資して、公共性と企業性の調和を目的として設立された事業会社。
- ※2) 輸送密度 1日1キロあたりの平均乗客数。
- ※3) 上下分離方式 地方自治体等が線路等の施設を所有し、鉄道会社等は、線路使用料を支払って営業する方式。

別所線の 果たす役割



瀧本

国は最近、地方鉄道問題に、非常に関心を持っていますから、地方自治体や市民の方々の地域一丸となった知恵があれば、別所線存続はきつとまくいけます。今は新しいものを作っていく時代ではなくて、今あるものをいかに活用するかということが問われる時代です。そんな視点で考えることが大切です。

中西

現在、長野大学や上田女子短期大学では、約2割を超える学生が別所線を利用してきます。別所線は学生募集における生命線とも言えます。その点からも存続をお願いしたい。

母袋創一
上田市長

観光的な視点からいうと、別所線利用者のうち観光客の占める割合は、およそ1割で、残りの9割が地元の利用者です。観光的な視点から利用促進策を考える場合にも、やはり地域の皆さんの視点に立った内容でなければ、観光面が一人歩きしてもうまくいきません。まず、地域の皆さんがこの上田を愛して、それからこの別所線沿線をどれだけ深く理解するか、そういう活気のある地域を愛する人が多くいところであれば、訪れた観光客もこの地域のすばらしさを理解すると思

近藤佳男
上田交通社
代表取締役社長

います。30年前の存続問題が取りざたされた頃とは、生活スタイルがずいぶん変わっています。それを考えると、市民も交えた形で意識改革を行う必要があります。地方鉄道は、現在新しいものを作ろうとしても作れない。そう考えると、上田交通別所線はある意味で文化財だという認識を持つ必要があります。動く文化財

中西満義
上田女子短期大学教授
日本文化学科長

として活用するひとつのポイントは、環境に配慮して、バスや新幹線・しなの鉄道から別所線へ乗り換える皆さんに、最終的な受け皿である別所温泉がエコポイント的な何か特典を用意することも必要です。また観光スポットは点在していますから、別の場所への移動では、シャトルバスやレンタサイクルの貸し出しなど電車を降りてからの足、また、地域を案内して自然・歴史を説明するボランティアスタッフなども含めての環境整備が必要になってくると思います。別所線の終点である別所温泉が、さらに魅力的なスポットとなるようにいろいろな形での努力が必要だと思

瀧本峰男
国土交通省鉄道局財務課
財政企画課長

ます。輸送人員の推移では、昭和52年当時は年間183万人の利用者がありました。平成14年度は129万人で、約30%のお客様が減っています。直近の決算では3394万円の赤字でした。この赤字は上田交通の他の部門の収益で埋めてきたので、別所線が今まで運行してこれたということを理解いただきたいと思

近藤

地方鉄道は事故が多いということで、平成14・15年度と2年間かけて全国の地方鉄道で緊急の安全診断をやっています。別所線も国の審査を受ける前に親会社の東電鉄の予備審査を受けました。その結果、今後10年間で15億円くらいの設備投資・修繕費をかけないと、今後の安全性を損なう危険性があるという指摘が出ました。上田交通としては、毎年お客様が減っているという現実と、毎年赤字が出る中で、これから先10年間で15億円と

母袋

いうと、1年間で1億ちょっとのお金を新たに積み込むということは、一企業の限界を超えますので、昨年、市長さんと市議会議員長さんに公的補助のため陳情書を出しました。ちなみに平成15年度は公的補助がないとすれば7900万円くらいの赤字になります。16年度は1億2000万円の赤字になる見込みです。これでは他の部門でカバーできません。しかし、私たち鉄道事業者は、安全が最優先課題ですので、安全に対する投資は採算が合うが合うまいが、動かしている以上やらざるを得ないわけです。ということで15年度にやるべき事業・投資は現実的にやっています。別所線が皆さんにとって本当に必要かどうかということも十分念頭に入れて、公的補助が得られない場合は廃線せざるを得ない状況だということをご理解いただきたいと思

ます。別所線を考えるには、通勤・通学などの生活の一面だけでなく、まちづくり(地域づくり)の視点が重要だと感じます。公的役割として考えられるのは、一つは経済的支援だと思

ますし、二つ目はいろいろな団体・個人の皆さんの活動として、別所線を何とかしようよという熱意ある取組み(利用促進)の中での公的サポートがどのようにできるかということです。また、利用促進への働きかけや観光等でPRなどが公的役割だと感じています。まずは、みんなが別所線について情報を共有することで「じゃあ何をすればいいんだろう？」ということが見えてくるのではないかと思います。

線路というのは文化を語っている部分があるのではないかと思います。社会的インフラの位置づけというものも、よく考えていく必要がある時期に来たと思っけています。「工夫や努力によって何とかなる」という意識を皆さんに持っていただきたいし、存続問題はそういう住民の皆さんの考え方に頼ることが大きいと思います。幸い別所線沿線は「信州の学海」「信州の鎌倉」といわれるほど文化財が多い。すばらしい田園風景もある。美術館等も多い、温泉もあると、これだけあるのだから、これをもっと有効活用すべきです。塩田城跡などのアジサイも新しい価値だろうし、マツタケ山もある。そういうものと別所線との連携も必要です。

一方で新しい価値を創造していかねればいけない。別所線沿線に高校を作るという発想もそのひとつですね。私たち何か施設をつくるのか、新しいものの価値を生み出すとか、そういう中で別所線を一つのルートで考えて何ができるのか、健康増進施設、レジャー施設でもいいと思っけています。民間の皆さんにもそういう視点で考えていただきたいと思っけています。

もうひとつ、最近、リュック姿の観光客が増えています。私も「リュックの似合つまちづくり」を街中でも、こういう田園風景が広がった所でも作っけていきたいと思っけています。映画やテレビロケも多く、それだけいい場所なんですよという、住民にとっけても誇りに思える地域ですし、

塩田平が「遊歩百選」に選ばれていることも踏まえて、これからスローライフ的な概念というものを大事にしていきたい。別所線というのは、ゆっくり走っけて生活スタイルも少しスローで考えてみようよと、そういう意味で非常にすばらしい位置づけになると思っけています。

中西 観光面からいうと、やはりこちらに来ないと味わえないという部分を、別所温泉の皆さんだけでなく、広域的な上田市の観光、さらにはもっと広域でPRする必要があると思っけています。また、車両のイメージアップを図るとか、車両をペイントして広告することで広告費を稼ぐという形、児童の絵を車両の全面に描いていくというようなことをしながら、別所線がより愛されたいく必要があると思っけています。

今城 観光客の一番のマーケットは、なんといっても東京、首都圏だと思っけていますが、上田は東京からかなり近くなっけた観光地ですが、認知度が高くないですね。上田駅まで来た観光客も降りたくなるような何かひとつ工夫がほしい。

近藤 新幹線で270〜280キロのスピードで上田に来て、別所線に乗ると、本当にゆっくりでおもちゃみたいな電車だということ、これがいいという観光客のお客さんもあります。塩田平は名所、旧跡が多い所ですから、これからの上田市活性化の柱の一つとして、観光産業の裾野を広げていく必要があると思っけています。現在、観光で別所線に乗車するお客さんは10%ぐらいしかいませんが、自然に恵まれた

所でやっけているというのは、武器になると思っけていますが、それが生かされていません。ただ、民間企業だけで観光産業を活性化するのは限界がありますので、これからは市の発展のため、行政を中心として、皆さんも参画してやっけていくことが大切です。

瀧本 全国の地方鉄道94社のうち、観光路線は54社あります。例えば、福島交通(福島県)は、全線が福島市内にあります。そこに飯坂温泉があり、パンフレットを見ると、松山の道後温泉と似たお風呂がある。でも、飯坂温泉は知名度が低い。別所温泉も同じことが言えます。そう考えると、鉄道と観光をいかに宣伝広告するかということが重要になります。広域的な観光協会や県、JRや東急と連携してやっけていく必要があります。

例えば、電車広告を鉄道会社同士でお互いにやりましょつというのにならば、いくらでもそういう話がありますし、実際、江ノ電と京福電鉄が京都と鎌倉というのをお互いポスターを貼りあいつつしてやっけています。工夫、アイデアはいくらでもあります。

中西 公共交通を利用しながら地域の学習をしていくと、千曲川左岸地区であれば、まちのほうに出ていっけて、それからまち中の小・中学校であれば別所温泉の方に外かけていっけて、自然学習をしたり、常楽寺や安楽寺を見学して、そこのご住職に講話をいただくというような、小さな取組みですが、車に乗れない人たちをどのように活用していくかということも大

切です。

瀧本 別所線というのが全国でどういう特徴があるかというところ、一つは親会社が東急電鉄であるということ。逆に親会社がそういう会社であると、地域の人からみれば、親会社が何とかしてくるだろうというふうには思いがちになります。これはむしろ皆さんも、お気をつけになっけてほしいと思っけています。複数の市にまたがっけていないことから長野県も動きにくい部分もあります。やはり市民の鉄道ですから、みんなで盛り上がっけていただく必要があります。長崎県佐世保市の松浦鉄道という3セク会社では、地区の世帯の人たちが、毎年たっけて10円ですが、お金を出して全世帯で支えるという意識をもっけてやっけています。常に意識を高めること



が大事です。

また、全国的にがんばっているところ
というのは、鉄道会社の社員一人ひとりが
小学校の校長先生に会ったりしてぜひ
利用してくださいと、沿線の市町村に出
かけていくという手作りの努力をしてい
ます。それはとても大事ですし、会社が
きちっと明確に目標を立て、市もいっしょ
になって盛り立てていくと、みんなをやっ
ていくということができるとは思いません。

今城 本場に維持していかなくてはいけない
というのは、地域の側できちんと対応し
なくてはいけない。今は「誰かがやって
くれるだろう」という段階ではなくなっ
ていると思います。

近藤 まったくそのとおりで、東急電鉄もた
いへん厳しくて、連結決算という形です
から、上田交通に赤字が出れば、それは
微々たるものでも、東急電鉄の収益の悪
化要因ということで、親会社は「もう赤
字の事業はやめなさい」ということまで
言いますので、親会社がついているから
大丈夫だということは決してありません
母袋 大切なのは上田市にとって最後の路線



である別所線を地元住民で守れるかどう
かです。同時に、まちづくりの視点から
すれば、中心商店街の魅力をさらにアッ
プすることも大事ですし、田園地帯の沿
線の魅力度をさらにアップすることも然
りです。また、地元住民の皆さんの意識
生活スタイルの変化を求めていく必要も
あるだろうし、広域的な観光という視点
が重要だろうということで、広域で宣伝
も始めています。

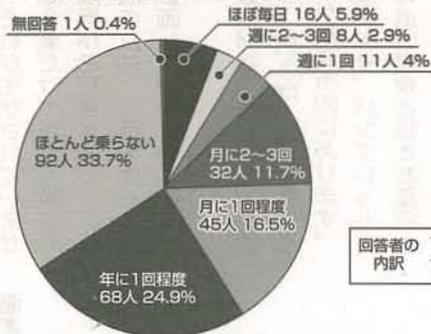
フィルムコミッションによる映画・テ
レビなどの口け支援も、上田が全国でも
有数に入る有名地ではあるんですが、周
辺町村でもすばらしい財産・資源がある
わけで、こういったものもお互いに取り
込んで、ホームページに乗せるというこ
とをしていく必要があります。それによっ
て滞在型の観光が視野に入ってくるの
ではないか。東京から1時間半で日帰りの
お客さんを相手にすることよりは、やは
り何とかして何日かの滞在型観光を目
指していく必要があると思う。それがス
ローの概念にも合うだろうし、リュック
の似合うまちづくりにもなると思います。
それと愛される別所線ということもせ
ひ考えたいと思っています。そこで、市
内の住民のみならず東京方面とか県外に
も多くの別所線の愛好者、守っていこう
よと思っている方が多いと思うんですね。
そういう皆さんの意思をどのように反映
できるかということもあります。別所線
存続のためのミニ公募市場債みたいなも
のも模索して、全国の別所線を愛する皆
さんの注意も引きたいし、自分たちが支

えているんだという意識を作っていく、
そのための手法も考えていきたい。

また、上田市をある意味では差別化し
ていくという意識も必要です。どのよう
に差別化するかと同時に、上田をPRし
売っていくという努力をどのようにする
かですね。いままで公の立場では、東京
あたりでのPR効果は限りなくゼロに近
いと思います。ポスターを貼る、デモン
ストレーションでピラを配ったりと、い
ろんな機会をとらえて上田をPRするこ
とに力を注ぎたいと思っています。

別所線電車利用促進シンポジウムの 参加者アンケート調査結果

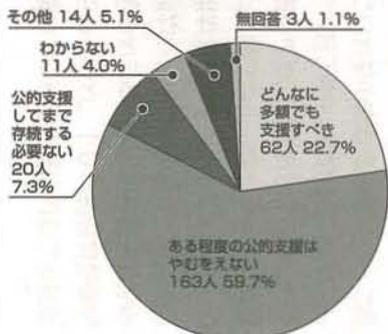
Q1 別所線をどのくらい使いますか？



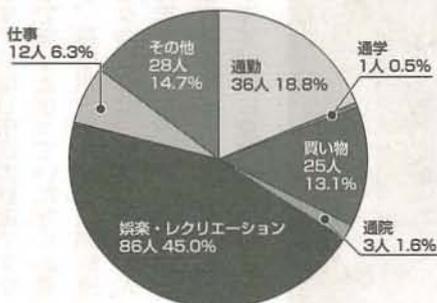
今回のシンポジウムに
参加した皆さん650人に
別所線に関するアンケート
を行いました。そのうち
273人の方から回答をい
ただきました。主な結果は次
のとおりです。

回答者の内訳	15歳以下 3人	60~69歳 102人
	16~59歳 138人	70歳以上 30人

Q3 公的支援は必要だと思いませんか？



Q2 どんな時に別所線を使いますか？



懐かしい丸窓電車の社内
(昭和61年)



別所線を存続することができるのか？これは、住民や地域にとって大きな問題です。上田交通にとっては、別所線は毎年赤字のうえ、安全性確保のため設備投資が必要となり、公的支援を求めています。かつて市内には国・私鉄が6路線ありましたが、残ったのは別所線と「地方鉄道を守りたい」と

いう熱い気持ちから、市役所内に別所線存続を図る対策本部を設けました。よくよく考えてみると、道路の整備には多額な予算がつきこまれる半面、公共交通機関である鉄道への支援は、制度的にしっかり整備されています。別所線を守るためには、市が単独で支援するには限度があり、どうしても国や県の力を借

りする必要があります。そのため、国や県に対して補助制度を充実するように強く要請しています。幸い国も別所線に対して関心を示し、国土交通省から「まずは地域住民の利用促進意識を高めることと熱意が必要」との助言がありました。

皆さんには「ずく」を出していただき、別所線を大いに利用してほしいと思っ

—市民お気軽集會—

「お元気ですか？市長です」

母袋市長が直接皆さんの地区にお伺いして、気軽に語り合います。9月後半の日程は下記のとおりです。

- ・9月18日(木)19:00～
三区会館(安藤病院南隣)

9月17日(水)予定の下室賀コミュニティセンター会場は、都合により延期となりました。

今年5月以降の別所線をめぐる動き

- 5月13日 別所線電車利用促進期成同盟会総会
- 5月27・28日 財鉄道総合技術研究所による第1回上田交通別所線の安全性緊急評価(橋と線路の検査)を実施
- 6月3日 市長を本部長とする上田交通別所線緊急対策本部設置
- 6月6日 別所線存続を求める市民の会が市長と議長へ陳情書提出
- 6月13日 長野大学が上田交通線に別所線存続について要望書提出
- 7月1日 「別所線利用促進期成同盟会」が「別所線電車存続期成同盟会」に名称変更
- 7月1日 別所線電車存続期成同盟会で、塩田町駅と別所温泉駅に無料レンタサイクルを設置
- 7月8～10日 財鉄道総合技術研究所による第2回上田交通別所線の安全性緊急評価(車両の検査)を実施
- 7月10日 国土交通省による第1回地方鉄道に係る費用対効果分析に関する調査委員会開催
- 7月12日 別所線電車利用促進シンポジウム開催
- 8月1日 別所線存続のため署名活動開始
- 8月5日 北陸信越運輸局による第1回地方中小民鉄の輸送サービス高度化に関する調査委員会開催

参加しませんか？

別所線写真撮影会

別所線電車に乗って「ときめきレディ」をモデルに、沿線の秋の風景を撮影しませんか。

テーマ 初秋の塩田平の別所線駅と電車

とき 10月5日(日)

定員 50人程度(先着順)

集合時間・場所 午前9時30分 上田駅温泉口広場

参加費 1,800円(一日乗車券・昼食代込み)

申込み・問合せ 電話かFAXで上田市管理課交通対策担当へ
(☎22・4100☎1562/☎23・5138)

作品の応募要領

- ・受付期間 10月6日～10月31日
- ・サイズ カラー・プリント四つ切(1人1点)
- ・賞 特選1点・準特選1点・入選1点・佳作3点

日程(雨天決行)

- 9:30 上田駅温泉口集合
- 9:54 上田駅発
- || 下之郷駅、中野駅等で撮影
- 12:00 別所温泉駅着
- > 《「喫茶丸窓」で昼食》
- 13:00
- > 別所温泉駅で撮影
- 14:22 別所温泉駅発
- || 八木沢～舞田駅間で沿線撮影
- 16:09 上田駅着 解散

●ご意見・ご提言は、市役所管理課交通対策担当係へ
☎23・5129/☎23・5138
Eメール:kanrika@city.ueda.nagano.jp

「合併を考える市民の集い」を開催します

市町村合併と地域の将来をいっしょに考えましょう



上田市・丸子町・真田町・武石村任意合併協議会では、4市町村が合併した場合の新市の将来像や基本的事項について検討してきました。この結果を踏まえ、母袋市長が市町村合併への思いを直接市民の皆さんに語ります。

また、前上山田町長の小山立^{りゅう}さんと、上田商工会議所副会頭の龍野彰宏さんによる特別講演を行います。

とき

9月17日(水) 午後7時～9時

ところ

上田市文化会館(材木町)

※駐車場は旧一中跡地または総合駐車場をご利用ください。

1 母袋市長が語る～市町村合併と上田市の将来～

2 特別講演

前上山田町長 小山立^{りゅう}さん

上山田町長として千曲市の誕生に尽力された経験に基づいて、合併の意義をお話しします。

上田商工会議所副会頭 龍野彰宏さん

新市将来構想策定委員会委員長として、新市の将来ビジョンをまとめた経験をもとに、地域の将来と合併についてお話しします。

市町村合併 市民懇談会を開催

企画課 (☎23・5112)

市民の皆さんに任意合併協議会での検討結果や、新市の将来像などについてお知らせするため、下記のとおり市民懇談会を開催します。

この説明会には、市長、助役、収入役、教育長、上下水道事業管理者が市内45か所の会場に分かれてお伺いします。



■日程・会場 下記の日程表をご覧ください。

(対象自治会は目安ですので、都合がつく日程で最寄りの会場へ参加していただければ幸いです)

■時間 午後7時～9時

■その他 説明会には、広報うえだ9月16日号といっしょにお配りする協議の概要「みんなで考えよう力を合わせた地域の未来」をお持ちください。なお、資料の配布以前に開催される説明会では、会場に資料をご用意します。

日 程	会 場	対象自治会	日 程	会 場	対象自治会
9月19日(金)	塩尻地区公民館	秋和・上塩尻・下塩尻	10月3日(金)	東部地区 防災センター	上常田・中常田・下常田・北常田
	中之条公会堂	中之条		西野竹公民館	染屋・西野竹
9月22日(月)	川辺町会館	川辺町	10月6日(月)	大屋公民館	大屋
	農村環境改善 センター	森・大日木・長入・宮之上・小井田・町吉田・中吉田・ひかり・桜台・下吉田・林之郷	東塩田児童センター	平井寺・鈴子・石神・柳沢	
	西部公民館	下紺屋町・鎌原・西脇・新町・諏訪部	10月7日(火)	踏入公会堂	踏入・泉町
9月25日(木)	中央公民館	材木町・常入・愛宕町	常磐町自治会館	生塚・城北・常磐町	
	塩田北保育園	下本郷・上小島・下小島・保野	10月8日(水)	上野が丘公民館	畑山・伊勢山・富士見台・神科新屋・住吉が丘・野竹
	みすず台南 公民館	下青木・みすず台南・みすず台北	相染閣	分去・大湯・院内・上手	
9月26日(金)	上青木公民館	上青木・梅が丘・久保林	西塩田会館	十人・塩田新町・東前山・西前山・手塚・山田・野倉	
	下之条公民館	上田原・下之条・半過	10月9日(木)	下之郷公民館	下之郷・桜
	勤労者 福祉センター	上鍛冶町・鍛冶町・上房山・下房山・柳町・上紺屋町	上川原柳公会堂	上川原柳・下川原柳	
9月29日(月)	川辺・泉田地区 防災センター	築地・東築地・福田・吉田	10月10日(金)	新田区民会館	新田
	小泉区民会館	小泉	諏訪形公民館	小牧・諏訪形・須川	
9月30日(火)	塩田公民館	上本郷・中野・学海南・学海北	下堀コミュニティ センター	岩下・上沢・下堀・上堀	
	南部地区 防災センター	南天神町・泉平・北天神町	10月14日(火)	川西公民館	仁古田・岡・浦野・越戸・藤之木
	西部公民館	緑が丘・緑が丘北・新屋・緑が丘西	山口自治会館	蛇沢・金井・山口	
10月1日(水)	千曲町自治会館	千曲町	まほろばの里 交流会館	下郷・岩清水・矢沢・赤坂・漆戸	
	塩田構造 改善センター	下組・中組・奈良尾	10月15日(水)	神科児童センター	大久保・金剛寺・長島
	岩門公民館	岩門・笹井・川原	10月16日(木)	五加公民館	東五加・五加
10月2日(木)	下室賀コミュニティ センター	下室賀・上室賀・ひばりが丘	御所公会堂	御所	
	舞田公民館	舞田・八木沢・八舞・セレーノ八木沢	10月17日(金)	中村自治会館	中村・朝日が丘・三好町
			神川地区公民館	黒坪・国分	
		10月20日(月)	創造館	倉升・神畑	
		10月21日(火)	市役所	松尾町・鷹匠町・本町・末広町・大手町・横町・海野町・原町・袋町・馬場町・田町・丸堀町・木町・北大手町	

平成15年度新技術・新産業助成金採択事業が決まりました

商工課では、上田市工業振興助成金選考委員会において、今年度における新技術等開発事業と新産業創出グループ支援事業の採択事業の選定を行いました。

採択事業の選定にあたっては、応募事業者が、選考委員(学識経験者らで構成)に対し、自社の事業について先進性や市場化可能性等の観点からプレゼンテーションを行い、その内容に基づいて選定しました。

厳正な審査の結果、今年度の助成事業として以下の事業が採択されました。

新技術等開発事業

事業名	事業所名
薄肉且つ偏肉の少ないポリプロピレン製二軸延伸ブロー成形法の開発	(株)フロンティア
鉄骨建築等のアンカーボルト設定装置の開発及び生産化	コロナ技建(株)
微生物を利用した微生物活性化装置と、微生物濃度を上げて廃棄物(特に油のスカム)の高速分解装置の商品開発	ラナビイク(株)
飛行羽ばたき式鳥除けシステムの開発	(有)信越技研
多言語・マルチメディア対応ドキュメント管理システムの構築	(株)ガリレオ
間伐材を利用した屋外据付型のエコロジートイレの開発	(有)クボケイ



プレゼンテーションの様子

新産業創出グループ支援事業

事業名	グループ名
3次元CADデータを開発・設計・製造に応用するための調査研究	上小地域工業振興会KTY(8)
新製品開発及び販路開拓のための調査研究	トライエッグサークル(32)

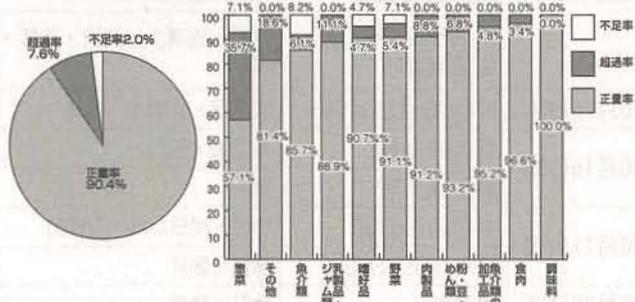
※カッコ内は参加事業所数

■問合せ 商工課 ☎23・5396

平成15年度前期計量モニター調査結果

商工課では、計量意識の向上を図り今後の計量行政に反映させるために、11人の方に計量モニターをお願いしています。商品の表記量が実際の内容量と一致しているかを調査しており、前期調査結果(6月1日~30日)は次のとおりです。

※昨年度同時期の調査と比較して、調査件数が増え、全品目において不足が目立つ結果となりました。ただし、食肉類については昨年よりも好成績でした。
 ※目方が不足のする原因としては、①トレー等の容器の目方を正確に差し引いて計量していない ②水分の蒸発により自然と減量してしまう ③計量器の使用方法に問題がある、といった原因が挙げられます。



■問合せ 商工課 ☎23・5395

消費税相談会開催のお知らせ

平成15年度の税制改正で消費税法の一部が改正され、平成16年4月1日から適用されます。

◎主な改正点

- ・納税義務が免除される準備期間における課税売上高の上限が1000万円(現行3000万円)に引き下げられます。
- ・簡易課税制度を適用することができる、基準期間における課税売上高の上限が5000万円(現行2億円)に引き下げられます。
- ・総額表示が義務付けられます。

小規模企業のかたへの影響は大きなものがありますので、早めの対応が必要となります。

上田商工会議所では、消費税相談会を無料で開催しますので、ご参加ください。

- とき 9月8日(月)・9日(火)・10日(水)
3日間とも午後3時30分~午後5時30分
- ところ 上田商工会議所5階ホール
- 講師 税理士

■問合せ 上田商工会議所 ☎22・4500



クリスマスデジタルアート グランプリ2003



- 募集対象 一般(大学生・専門学校生以上)/中学生・高校生/小学生クラス
- 募集部門 静止画部門: コンピュータを利用して制作した静止グラフィック作品
動画部門: コンピュータを利用して制作したアニメーションなどのビデオ作品およびインタラクティブ性を持ったマルチメディア作品

■作品内容、条件

作品のテーマは、「クリスマスに関連したもの」とします。

- ・MacintoshまたはWindows環境で表示・動作できる、未発表のマルチメディア作品(静止画、動画、HTML、ディレクタープロジェクト、プログラムなど)とします。動画部門は、ビデオテープでの応募も可とします。
- ・基本的にグラフィック作品とし、音声だけの作品は受け付けません。
- ・動作に必要な条件がある場合(プラグインなど)は、申し込みの際に併記してください。
- ・作品の著作権は作者に属しますが、このコンテストの結果発表や広報宣伝などの活動で、実行委員会が複製・利用できるものとさせていただきます。
- ・作品内で使用するキャラクター、デザイン、音楽などは、全て著作権処理や使用条件などをクリアしておいてください。盗作、無断使用などは不可とします。

■募集期間 10月31日(金)まで(必着)

■応募方法 応募は、1部門につき1人1点のみとします。

- ・作品の送付形態は、メディア(フロッピー、MO、CD-R、ビデオテープなど)の郵送とします。
- ・動画作品のビデオテープは、VHS、スタンダード/ミニDVカセット、β-camSPのいずれかとします。
- ・電子メールの添付ファイルによる応募も可とします。
- ・原則として、ホームページ掲載用画像(JPEG 640×640pixel 以内)を作品に添付してください(動画部門を含む)。※用意できない場合は、その旨お書き添えください。
- ・作品タイトル、作品に関する一言、氏名、年齢、学校と学年(学生の方)、住所、電話番号、E-mailとホームページURL(ある人)、コンテストホームページでのリンクの可否を併記してください。
- ・応募作品は返却いたしませんのでご了承ください。

■表彰内容 グランプリ/各部門・クラスごとに優秀賞・入選/その他各賞

■結果発表 12月1日(月) ■表彰式 12月13日(出)

◆応募先、問合せ先 クリスマスデジタルアートグランプリ2003実行委員会事務局

〒386-1211 上田市下之郷812-1 上田市マルチメディア情報センター内(☎39・1000/☎39・1010)

E-mail: contest@umic.ueda.nagano.jp URL: http://www.umic.ueda.nagano.jp/03contest/index.html

上田古戦場健康マラソン大会参加者募集

さわやかな秋空の下を駆け抜けよう!

第17回上田古戦場健康マラソン大会が開催されます。
10月12日(日)午前9時上田城跡公園スタート!

上田古戦場健康マラソン大会
キャラクター



●参加賞
競技種目/リストバンド
健康2.5キロ/靴袋

種目	参加料	備考
健康2.5km	2.5km 500円	■参加資格 アマチュア競技者で、健康に自信のある方 ■申込み 所定の申込み用紙に必要事項を記入のうえ、参加料を添えて直接または郵送で上田市教育委員会体育課または市役所総合案内窓口へ ■受付期間 9月19日(金)まで。郵便振替の場合も9月19日(金)必着。なお、9月13日(土)、14日(日)、15日(月)は休日ですが、教育委員会体育課窓口のみ午前9時から午後4時まで申込みを受付けます。
小学校低学年	2.5km 1,000円	
小学校高学年	2.5km(男女別) 1,000円	
中学生	5km(男女別) 1,000円	
高校生以上	10kmまたは5km(男女別) 2,000円	
40歳以上	10kmまたは5km(男女別) 2,000円	
60歳以上	5km(男女別) 2,000円	

■問合せ 体育課 ☎23・5105

訂正のお知らせ

広報うえだ 8月16日号10頁に掲載した市民総合体育大会弓道大会の期日は、都合により10月13日(月)ではなく、10月11日(土)に変更になりました。問合せ 体育課☎23・5105

「上田都市計画区域マスタープラン」の素案の閲覧と公聴会を開催します

現在、長野県では県内の各都市計画区域ごとに「都市計画区域マスタープラン」を策定しています。

上田市でも、上田都市計画区域のマスタープランを上田建設事務所で策定中ですが、その素案の閲覧と公聴会を開催します。

■素案の閲覧

期間 8月28日(木)～9月25日(木)
午前9時から午後5時まで(土・日を除く)
ところ 上田市都市計画課
長野県土木部上田建設事務所管理計画課
長野県土木部都市計画課

■公聴会の開催

とき 9月28日(日)午後4時30分～6時
ところ 中央公民館大会議室

■公聴会発言者の申し出

発言を希望される方は、長野県知事宛での公述申出書に必要事項、述べようとする意見の要旨を記入の上、上田市都市計画課または上田建設事務所管理計画課に提出してください。公述申出書は、上田建設事務所のホームページ及び素案閲覧の窓口にあります。発言者の資格は、上田都市計画区域に関わりのある方です。

◆公述申出書の提出期間

8月28日(木)～9月12日(金)
郵送の場合は、提出期間までに到着したものが有効となります。

◆公聴会の傍聴

公聴会の傍聴を希望される方は、当日直接会場においてください。

なお、発言者がいない場合は、公聴会は中止となります。

詳細につきましては、お問い合わせください。

■問合せ 上田市都市計画課 ☎23・5127 県管理計画課 ☎25・7165 県都市計画課 ☎026・235・7297

長野リコー(株)東信支店が、新たに「上田市エコストア」認定店に

市では、消費者の側に立ったごみの減量・再資源化に寄与する取組みをしている小売店等を「エコストア」として認定し、その利用を市民に推奨し、資源循環型社会を実現させるための制度として「上田市エコストア認定制度」を設けています。

現在、26事業所(33店舗)が認定を受けていますが、新たに下記の事業所が認定されました。事業所の店頭には、上田市エコストア認定店のステッカーが貼ってあり、取組内容が明示されています。みんなの力で住み良い循環型社会をつくりましょう。

なお、エコストアの申請については随時受け付けていますので、お問い合わせください。

新たに認定された上田市エコストア認定店

上田市エコストア認定店	所在地	取組内容
長野リコー株式会社 東信支店	芳田516-2	・簡易包装の推進 ・再生品の利用促進 ・資源ごみ回収の推進

■問合せ 廃棄物対策課 ☎22・0666

ウィークエンドリサイクルの店舗が変わります。

毎月第4土曜日に実施していた「ジャスコ上田店」でのウィークエンドリサイクルは、9月27日(出)から、「やおふく上堀店」に変更になります。

日程	実施店舗	回収時間
第1土曜日	ツルヤ大屋店 マツヤ上田店 (川西)	10:00～12:00 回収時間の前後は、資源を出さないでください。 (店舗への不法投棄となり、廃棄物処理法の処罰の対象になります。)
第2土曜日	西友秋和店 西友三好町店 Aコープコア 塩田店	
第3土曜日	マツヤ上田 インター店 やおふく上堀店	
第4土曜日	「やおふく上堀店」 しおた野 ショッピング センター	

■問合せ 廃棄物対策課 ☎22・0666

勤労青少年ホーム10月開講講座参加者募集

- 参加資格 事業所等に勤務する35歳までの方
- 申込方法 勤労青少年ホーム(消防本部前)へ、受講料を添えて申し込んでください。電話でも受け付けます。
- 申込期間 9月17日(水)～20日(土) 12:30～21:00
- 講習会場 勤労青少年ホーム

開講講座日程表

講座名	曜日	期間	回数	定員	受講料	時間	備考
茶道(裏千家)	月	10月6日～	20回	12人	3,000円	18:30～	お菓子代等(月800円程度)
生け花(古流)	月	10月6日～	20回	18人	3,000円	18:30～	花代(各回1,000円程度)
生け花(草月)	火	10月7日～	20回	18人	3,000円	18:30～	花代(各回1,000円程度)
ハングル	水	10月1日～	10回	15人	1,500円	20:00～	詳細はホームまで
生け花(池坊)	木	10月2日～	20回	18人	3,000円	18:30～	花代(各回1,000円程度)
そば打ち	木	10月2日～	4回	10人	600円	19:00～	材料費1,500円程度
フラワーアレンジメント	金	10月3日～	20回	18人	3,000円	18:30～	花代(各回1,000円程度)

※他に利用者協議会費500円が必要になります。
 ※各生け花教室は月1回フラワーアレンジメントをやります。

■問合せ 勤労青少年ホーム ☎22-7117

「第32回上田わっしょい」が盛大に開催!

7月26日(土)に第32回上田わっしょいが、踊り、みこし、太鼓の各連約1万人の参加を得て盛大に行われました。踊りコンテストではコンテストを希望する46連の中から次の連が「わっしょい賞」を受賞しました。ご参加いただいた各連の皆さん、たいへんお疲れさまでした。関係機関の皆さん、ご協力ありがとうございました。



正調の部/北天神町連

【わっしょい賞】

正調の部

北天神町連、よいこ組連、レッドスマイリーキッズ連、

スマイル連

オリジナルの部

上田高校弓道班連



オリジナルの部/上田高校弓道班連

【特別賞】

上田東高校女子硬式テニス班連

実行委員会では、「上田わっしょい」が、来年、よりいっそう盛り上がるよう皆さんからのご提言をお待ちしています。

■問合せ 観光課 ☎22-4100(内1422)

A R E C 特別講演会

企業経営者トップセミナー

和田一夫氏特別講演会

■と き 9月19日(金)
 ■と ころ 上田東急イン
 ■プログラム
 開会/14:30
 講演/

和田一夫氏



1. 14:40~15:00 (20分)

「経営者の真髄とは?【人格の魅力】
 人間和田一夫に魅了されて45年」

株式会社 ハウ インターナショナル 特別顧問 土屋高德氏
 (元ヤオハングループの人事教育の最高責任者/長野県佐久市出身)

2. 15:00~15:20 (20分)

「アジアのシリコンヴァレー
 e-ZUKA (いづか)への夢」

株式会社 ハウ インターナショナル 代表取締役副社長 正田英樹氏
 (㈱ハウ インターナショナル創業者の一人/1972年生まれ)

3. 15:30~17:00 (90分)

「夢は必ず実現する~栄光と挫折の中で~」

株式会社 ハウ インターナショナル 代表取締役会長兼社長 和田一夫氏
 (元ヤオハングループ代表)

■参加料 無料

■定員 100人(定員になりしだい締切)

懇親会(17:15~19:00)は参加費2,000円

第2回先端技術講習会

金田嘉行氏特別講演会

■と き 10月1日(水)
 ■と ころ 上田東急イン
 ■プログラム
 開会/15:00

金田嘉行氏



講演/15:10~16:40 (90分)

「技術と知恵で新たな価値創造への挑戦
 ~国際競争力の再生~」

金田嘉行氏

(ソニー株式会社関西代表・元代表取締役副社長・工学博士)

■参加料 無料

■定員 100人(定員になりしだい締切)

懇親会(17:00~19:00)は参加費2,000円

申込み・問合せ

上田市産学官連携支援施設(AREC)/浅間テクノポリス地域
 センター 担当 岡田基幸
 ☎0268・21・4377/☎0268・23・6673/
 Eメール arec@asatech.or.jp

※㈱ハウ インターナショナル/地元の九州工業大学の卒業生が福岡県飯塚市をアジアのシリコンヴァレーにしようと立ち上げたベンチャー企業が礎。2002年に和田氏の経営コンサルタント会社と正式に合併した。Java技術を駆使して、米国のウォルマートに対抗するスーパーマーケットの流通システムの開発に取り組み、流通業の革新に挑んでいる。飯塚市は本年4月、政府が進める構造改革特区第1号の「飯塚アジアIT特区」として認可されている。

5周年記念 ブラジル田舎祭り in 上田(アハイアル テ ウエダ)

V ARRAIAL DE UEDA - 5 ANOS DE INTEGRAÇÃO

市内に多く在住しているブラジルの皆さんと、交流をしませんか。歌や踊り、ブラジル料理などが紹介されるほか、楽しい催しが予定されています。

■と き 9月7日(日)午前10時~午後5時

■と ころ 旧第一中学校グラウンド

■内 容 クアドリリア(フォークダンス)、ブラジル歌謡、シュラスコ(パーベキュー)、子ども向けのゲーム、手品、真田陣太鼓など

■問合せ ブラジル田舎祭り実行委員会(堀之内) ☎090-7203-5165



中央通りまちづくり景観協定が県知事からも認定

7月24日に市でも認定を受けました中央通りまちづくり協定が、8月7日(休)県庁で山田豊会長が県知事からも認定書(第142号)の交付を受けました(他にも県下5市町村から5団体が認定)。

この結果、市では「しなの木通りまちづくり協議会」(県43号認定)「柿ノ木地区まちづくり協議会」(県120号認定)「柳町まちづくり協議会」(県132号認定)について4番目の認定となります。県下で協定地区は142を数えます。また、8月5日(火)に上小地域景観推進会議(会長上小地方事務所長)から、日ごろ景観推進活動に積極的に取り組んでいる「ガールスカウト第25団」、「下本郷地区花と緑のまちづくり協議会」、「上小建築士会」の皆さん方が表彰を受けました。

■問合せ 都市計画課 ☎23-5127



やまびこフォーラム・信州上田夏季大学2003参加者募集

「足元の価値を発見し、くらし創り実践宣言」

住民(生活者)の視点から地域づくりを考える「やまびこフォーラム2003」と「信州上田夏季大学2003」をそれぞれの実行委員会により、協働で開催することになりました。

今回のテーマには、各地にある潜在的な魅力を見出し、地域の個性として盛り上げ、未来への新しい地域づくりの第一歩を、皆さんと一緒に歩んでいきたいという強い思いが込められています。

地域づくりに対する熱い思いを抱いている全ての皆さんと、開催地域の方々と共に「学び」「考え」「話し合う」機会としていきます。

ここでの学びと交流が、今後の活動の糧となるような実りの多い大会にさせていただきたいと思えます。

この機会に、地域づくりの種を一緒に蒔き、大きな夢のある芽を育てましょう!!

20日(出) 1日目	13:00~13:30	受付
	13:30~15:20	開会セレモニー 講演会「地方分権と住民参加」 古川康氏(佐賀県知事/元長野県 総務部地方課長)
	15:30~17:30	分科会 1部
	17:30~	上田交通別所線にて移動
	19:00~21:30	全体交流会(別所温泉 相染閣)
21日(日) 2日目	9:00~12:00	分科会 2部
	12:00~13:00	昼食
	13:00~14:00	全体発表会、閉会式

■とき 9月20日(出)、21日(日) ■ところ 長野大学 ■内容 下記参照

■参加費 一般・大学生1,000円、高校生500円(交流会費 大人2,000円、大学生・高校生1,500円)

■申込方法・申込期限

下記申込先へ、「参加申込書」に必要事項を記入の上、郵送・FAXまたはホームページから、9月10日(木)までにお申し込みください。参加費は、当日会場受付でいただきます。参加申込書は、上田市教育委員会生涯学習課青少年係または上小地方事務所総務課企画振興係で配布しています。

■申込先 上田地域広域連合内 やまびこフォーラム・信州上田夏季大学2003係宛

郵送先 ☎386-0025 上田市天神2-4-55 FAX 26・8980

ホームページ <http://www.muragataridan.jp/event>

分科会 4 別所線を活性化させよう～地域公共交通網を考える～

テーマ これからのまちづくりの方向性

講師/古川 康(佐賀県知事)

元長野県総務部地方課長。地域性が異なる長野県民を熟知し、社会が変化しつつある現在にあえて知事という立場を選んだ古川康佐賀県知事。自分の住む街を愛し、ひとりひとり地域を見つめ直す知恵や、アドバイスをお話いただきます。

分科会

4 別所線を活性化させよう～地域公共交通網を考える～

テーマ 『電車』は自ら助くる者を助く

講師/なし 責任者/竹田貴一

上田駅-別所温泉駅間11.8kmの「上田交通別所線」は、昨今の社会状況から存続の危機を迎えています。「地域の足」であるはずの公共交通のあり方について、こんな今だからこそ利用者視点で考えてみませんか。

受入人数
30人

分科会 1 IT、マルチメディアと地域づくり

テーマ 上田市マルチメディア情報センターの活用を考える

講師・責任者/斎藤史郎(十勇士クラブ、上田市マルチメディア情報センター)

ITやマルチメディア技術が発展している社会情勢から、各地に情報センターや生涯学習センターなどが作られている。それらの施設を行政・市民の協働でどう有効活用していくか。上田市マルチメディア情報センターを例にとり、参加者と共に考えたい。

受入人数
20人

分科会

5 市民と行政のパートナーシップですめる地域づくり

テーマ 地域連携の新しい手法を探る

講師/古川康(佐賀県知事)、松下啓一(大阪国際大学教員)、久住剛氏(パブリックリソースセンター代表理事) 責任者/古田隆美、竜野秀一、竹内充

佐賀県知事・古川康、大阪国際大学・松下啓一、パブリックリソースセンター代表理事久住剛氏らの講演、パネルディスカッションをふまえ、長野県における市民、行政、NPO、大学による地域連携のあり方を模索する。

受入人数
制限無し

分科会 2 青年の進路・就職問題を考える

テーマ 青年の進路・就職問題を切りひらき、地域で暮らすために

講師/新津利通(上田公共職業安定所長) 責任者/小川勝一、久保田武嗣

青年が、地域で生き生きと暮らす「居場所」と「仕事」を見つけよう。青年の進路・就職問題を学校、企業、行政、地域の市民とともに考え、ともに行動する「場」を作ろう。

受入人数
25人

分科会

6 "里山復権"を考える

テーマ 里山の多様な価値の発見を通して、山と里との信頼関係を取り戻し、足元から新たなコミュニティを創造しよう

話題提供/唐白山の老松保存会 責任者/村山隆、高須健

人と山との関わりが疎遠になって久しい。山の変貌と人々の暮らしとの相関を、枯死した老木への叫びに聞いた住民が塩田平に。老松の叫びかけの意味を今あらためて検証し、山と人との新たな関係を探る機会としたい。(2日目に会場の裏山を散策。*ヤマノボの木にも出会えます)

受入人数
50人

分科会 3 地域で生と死を考える

テーマ よく生きるために、死についてもっとオープンに語り合おう(パネルディスカッション)

講師/滋野真(上田市浄業寺住職)、佐々木学(泰阜村診療所長)、訪問看護師

責任者/滝塚照子、小高康正

老いや不治の病にかかった人に対する共感を深め、また日頃から死についても、タブーにしないで、もっとオープンに語り合うきっかけになればと思います。そこから市民中心の医療や福祉を考えましょう。

受入人数
30人

分科会

7 "おばちゃん"の知恵で暮らしを変えよう!【地産・地消の地域づくりを!】

テーマ つくろう! つたえよう! ふるさとの食文化(味)

講師/地域で活性化などに参加している普通の"おばちゃん"

責任者/小金澤喜代治、安井啓子

「塩田平は食材の宝庫です!おばちゃん」と一緒に普段着の料理を楽しもう!「人は生きていくところの水を飲み、作物を食べる。身近な食材で、大切な地域の「食文化」を再発見。。(あなたの逸品も自慢してみませんか? 持ち寄り歓迎)

受入人数
30人

■問合せ 実行委員長 中澤信敏 ☎22・7710 FAX22・7718 ☎386-0016 上田市国分1-7-12



メディアランドUEDAへ
お越しください

メディアランドUEDA
☎39・10000

デジタルカメラ&写真加工入門

■とき 9月20日(出)
午後1時30分〜4時30分
■対象 パソコン経験者
■定員 16人
■参加料 20000円

インターネット&電子メール入門

■とき 9月27日(出)
午後1時30分〜4時30分
■対象 パソコン初心者
■定員 16人
■参加料 15000円

パソコン相談室

■とき 9月28日(日)
午前10時〜正午
■対象 初心者から経験者まで
■定員 10人
■参加料 無料(要事前電話予約)

日曜画家講座

■とき 9月28日(日)
午後1時30分〜4時
■対象 マウスが使える方
■定員 16人
■参加料 15000円

上田創造館の催し

上田創造館
☎23・11111/☎24・41000

秋の野草と樹木を観察しよう

■とき 9月6日(出)
午前9時30分〜11時
■ところ 創造館周辺と長池公園
■内容 秋の野草と樹木を観察します。
■対象 小中学生と保護者
■参加料 無料
■持ち物 ビニール袋、植物図鑑(お持ちの方)
■その他 参加される方は、当日第一駐車場に集合

第14回春陽会東北信絵画展

■とき 9月12日(金)〜16日(火)
午前9時〜午後4時30分(16日は午後4時終了)
■内容 春陽会東北信会員による絵画作品(油彩・水彩・版画約45点)
■参加料 無料
■ところ 太陽の黒点を観測しよう

太陽の黒点を観測しよう

■とき 9月13日(土)
午前10時〜11時
■内容 天体望遠鏡(口径20cmの屈折式赤道儀)で太陽の黒点を観測します。
※天候が悪く観測できない場合は、プラネタリウム室で太陽に関する話やビデオの上映をします。

参加料 無料

■参加料 無料

■参加料 無料

星空観望会

■とき 9月27日(出)
午後7時30分〜午後9時
■内容 夏の星座や星雲・惑星を観望します。
■参加料 無料
■その他 午後7時から受付します(小中学生は、保護者同伴)。
※天候の悪い時は、今宵の星空解説と天文映像の投影をします(双眼鏡などある方はお持ちください)。



在宅介護者リフレッシュの集い

社会福祉協議会
☎27・2025

■とき 9月30日(火)〜10月1日(水)
■ところ 穂高温泉
「リフレッシュ」
■対象 自宅で介護をしている方
■定員 20人
■参加料 15000円

「聞いて得セミナー」開催

生活環境課
☎23・5120
あなたは、ファーストフード派? テイクアウト派?それとも手作り

派?

「便利」「簡単」「安い」「つまい」で食べ物を選んでいませんか? 食品がふんだんに出まわる中であなたの食生活は豊かになっているでしょうか。
今、アレルギーや生活習慣病、精神的にキレやすい子が増え、食生活が大きく影響しているといわれています。我が家の食生活、見直してみませんか。

■とき 9月17日(水)
午後1時30分
■ところ 上田合同庁舎6階講堂
■演題 「今、食があぶない!」
〜あなたは、崩食?飽食?豊食?〜
■講師 安藤節子さん(食べ物文化「編集長」)

■定員 120人
■受講料 無料
■申込み 9月12日(金)までに生活環境課へ

■生命保険の見直し個別相談会
市民プラザ・ゆつ
☎27・2988

■とき 11月10日(月)・12日(水)
午前10時〜午後5時
■ところ 市民プラザ・ゆつ
■内容 生命保険の見直し。個別に見直し相談に応えます。
■相談時間 1人1時間(要予約)
■講師 久野竜也さん(ファイナンシャルプランナー)

■申込み 電話で営業課または下水道課へ

「南部クリーンパーク」見学会

営業課☎23・8243
下水道課☎23・5128

毎年9月10日は「下水道の日」。上下水道局では、これにあわせて南部クリーンパーク施設見学会を行います。
ふだん見ることのできない施設や、下水がきれいになる方法などを説明します。おおぜいの皆さんの参加をお待ちしています。

■とき 9月6日(出)
午前10時〜正午
■ところ 「南部クリーンパーク」
上田市大字下之条1155-15(上田大橋南側)

■内容 市の下水道の概要説明・下水処理施設の微生物についてなど
■申込み 電話で営業課または下水道課へ



塩田東山観光農園でフラワーパーク(コスモス園)、ぶどう・りんご狩りが始まります

9月7日(日)午前9時から塩田東山観光農園で、オープニングイベントを行います。みなさん、お出かけください。

■問合せ 塩田東山観光農園 ☎39・0210

自然のふれあい「森の学校」

農林課

☎22・4100 内1457

■とき 10月4日(出)

午前8時30分～午後3時

■ところ 東山市有林(下之郷)

■内容 森づくり(間伐体験)・木工教室(森の材料等を使っての工作)・ネイチャーゲーム・カレーづくり

■対象 市内小中学生とその家族

■定員 50人(申し込み多数の場合は抽選)

■参加料 大人 500円
子ども 300円

■申込み 9月19日(金)までに農林課へ

■その他 詳細は、申込者に後日連絡します。

視覚障害者の方対象の料理講習会

点字図書館

☎22・1975

点字図書館では、視覚障害者の方を対象に料理講習会を開催します。内容は、秋の行楽弁当です。お気軽にご参加ください。

■とき 9月26日(金)

午前10時～午後1時30分

■ところ 点字図書館

■定員 10人

■参加料 無料

■申込み 9月19日(金)までに点字図書館へ

■持ち物 エプロン、三角巾

■その他 送迎をご希望の方はご連絡ください。



フリーマーケット(上田市消費生活展)の出店者募集

生活環境課

☎23・5120

新品はもちろん、まだ捨てるには惜しい品物の販売をするフリーマーケットへの出店者を募集しています。

あなたもこの機会に、フリーマーケットへ参加しませんか!

■とき 10月18日(出)

午前10時～午後3時

■ところ 上田創造館

■申込み 9月19日(金)までに市役所生活環境課へ

点訳ボランティア入門講座 受講生募集

ボランティアセンター

☎26・2629

■とき 9月30日(火)～12月2日(火) 午後1時30分～3時30分

■ところ ふれあい福祉センター

■内容 点訳に必要な基礎知識とパソコン点訳の方法を学びます。

■対象 市内在住で毎回出席できる方。受講後活動を続けていける方。

■定員 15人

■受講料 無料(テキスト代等は実費)

■申込み 8月25日(月)から上田市社会福祉協議会内ボランティアセンターで受付を開始し、定員になりしだい締め切ります。

■真田太平記館開館5周年記念 文学講座受講者募集

池波正太郎真田太平記館

☎28・7100

秋の企画展「池波正太郎『鬼平科帳』展」にあわせ文学講座を開講し、『鬼平科帳』の物語を愉しみます。

■とき 9月20日(出)、10月18日(出) 午後1時30分

■講師 鶴松房治さん(池波正太郎真田太平記館指導員)

■定員 30人

■受講料 1000円(飲物、お菓子付)

応急手当講習会

上田東北消防署

☎36・0119

大切な人が自分の目の前で倒れたり、あなたはどつしますか?

いざというときのために、応急手当の知識と技術を身につけておきましょう。

■とき 9月27日(出) 午後2時～5時

■ところ 上田東北消防署2階

■内容 普通救命講習

■定員 30人

■受講料 無料

■申込み 9月21日(日)までに、最寄りの消防署にお申し込みください。

■服装等 動きやすい服装で、ハンカチ、筆記用具をお持ちください。

■その他 受講後、修了証を発行します。



「救急情報ネットワークシステム」をご利用ください。9月9日は救急の日!!

消防本部警防課

☎26・0119

休日・夜間の急な発熱やケガ等の際、救急車を呼ぶほどでもないが診察・治療を受けたい場合、次の電話にお問い合わせください。

☎26・0119(消防本部)

☎38・0119(上田南部消防署)

診察可能な医療機関を24時間体制で紹介いたします。なお、上田市ホームページ内の上田市医療情報照会(<http://kyukyutelcomu.co.jp/>)でも同様な情報を得ることができます。119番は火事、救急車の緊急電話です。問合せでの使用はご遠慮ください。

児童手当の認定請求はお済みですか?

児童保育課

☎23・5132

児童手当は、小学校に就学する前の子ともさんを養育している保護者に支給される手当です。保護者の所得が一定額を超えていない場合、認定請求をされた翌月から児童手当が支給されます(2月、6月、10月に前月分までの手当を指定の口座に振り込みます)。認定請求は、随時受け付けています。子どもさんが生まれた方、上田市に転入された方で児童手当の認定請求をされていない方は、認定請求をしてください(公務員の方は勤務先にお問い合わせください)。

また、以前に認定請求をされて認められなかった方もあらためて認定請求をしていただくと、児童手当が支給できる場合があります。分からないことがありましたら児童保育課へお問い合わせください。

高齢者福祉センター 館内行事のご案内

■問合せ ☎22・4119

「心と体を豊かにする健康体操」

■とき 9月12日(金) 10時30分～ 軽い運動のできる服装でご参加ください。

「童謡・唱歌を楽しむ会」

■とき 9月26日(金) 10時30分～ 当日、歌集代として50円集めます。

上田市文化会館

■材木町1-2-3 ☎22-0760

とき	催し	開演時間	入場	問合せ
9/13(土) 9/14(日)	高等学校演劇合同発表会	9:30	無料	東信高等学校演劇連盟 (☎22-0002)
9/17(水)	合併を考える市民の集い	19:00	無料	企画課 (☎22-4100)
9/18(木)	市民健康づくり講演会	13:00	無料	健康推進課 (☎22-4100)
9/26(金)	人権を考える地区市民集会	19:00	無料	人権同和教育推進委員会 (☎22-0760)
9/27(土)	信州寄席	18:30	有料	信州寄席実行委員会 (若生☎22-0252)

上田市民会館

■二の丸1-2 ☎22-0762

とき	催し	開演時間	入場	問合せ
9/7(日)	民謡舞踊発表会	9:00	無料	近藤社中 (☎22-1674)
9/21(日)	扇ひろこ チャリティーコンサート	13:00	有料	サウンドエコー (☎23-8720)
9/27(土)	明治大学 マンドリンクラブ演奏会	18:00	有料	上田駅台会 (☎22-3330)

ごめい福を
お祈りします
(7月届け出分・敬称略)

井澤 たつ子 越 戸
井澤 武雄 材木 町
井出 い志 笹 井
大井 ふじ江 浦 野
柳澤 四女代 下 島
増澤 穂並 北 常 田
小井 戸 泉 伊 勢 山
滝澤 増美 浦 野
宮田 重信 踏 入
古畑 時生 大 手 町
坂井 邦博 吉 田
倉根 孝子 鈴 子
石黒 和子 福 田

久保山 俊子 秋 和
小宮山 裕子 柳 町
太田 暑子 上 塩 尻
武舎 秀雄 大 手 町
成澤 サタ 横 町
小林 茂 諏 訪 形
関 くに子 新 田
田中 操 下 常 田
伊藤 仁四郎 本 町
吉澤 好江 長 島
中村 とめ 笹 井
大塚 たか 馬 場 町
滝澤 孝徳 林 之 郷
清水のぶ子 小 牧
成澤 桃吉 緑 が 丘 西
三上かをる 山 口
久保 正昭 千 曲 町
竹花 輝延 中 組

榎 みちみ 院 半
外村 敦子 踏 入
井上ハツエ 神 畑
池田 和子 下 之 条
橋詰 京子 西 前 山
児玉 進 中 野
中村 喜昭 新 田
高木 弘子 東 前 山
田中 操 町 吉 田
中山 彌 中 常 田
池田 美子 手 塚
堀 輝基 久 保 林
西澤 定雄 久 保 林
矢島 久子 久 保 林
武井 静江 大 泉
常田 三枝子 小 泉
池田 栄一 石 神

箱山 正夫 柳 原 貢
土屋 よし子 金子 久美子
綿内 寛美 重山 壽志
重山 房枝 馬場 房枝
母袋 圓吉 佐々木 重良
関 玉春 飯島 康雄
宮本 ヨシ子 齊藤 とし江
荻原 幸男 倉坂 重美
柄澤 はじめ 柄澤 はじめ

94 70 83 84 78 71 89 80 72 84 67 52 63 76 80 69

10月1日は住宅・土地統計調査

10月1日、全国で住宅・土地統計調査が行われます。
この調査は住宅・土地に関する最も基本的な調査で、
その結果は豊かな暮らし、やさしい住まいのための基礎資料となります。

なお、調査内容は統計を作成するためだけに使用するもので、その他の目的には一切使用しません。

— 関係の皆様のご理解とご協力をお願いします。 —

「夢がある 家・まち・くらし 調査から」

平成15年 住宅・土地統計調査 10月1日 総務省統計局 長野県上田市

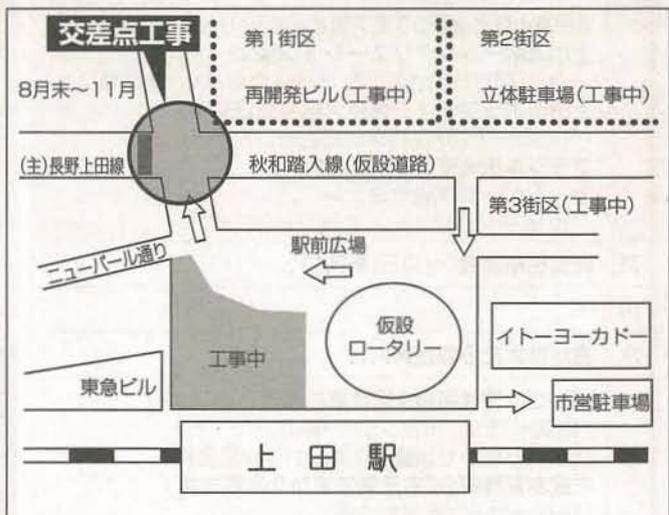
お城口駅前交差点部分の工事のお知らせ

現在、お城口広場の造成工事と1街区前の秋和踏入線の工事を進めていますが、8月末から、長野上田線の駅前交差点部の改良工事に着手しています。

この交差点部の改良工事に伴い、今まであった横断歩道橋を撤去し、歩行者の皆さんには、横断歩道を渡っていただくようになりました。工事期間中は、交差点内の通行を制限しての工事となりますので、安全に注意してご通行ください。

また、工事期間中はお城口周辺道路の混雑が予想されますが、皆様のご協力をお願いします。

駅周辺の商業施設は今までどおり利用できますので、駅周辺の案内看板に従ってご通行ください。



■問合せ 市街地整備課 上田駅周辺整備現地事務所 ☎23-3432

保健ガイド

健康推進課(☎23-8244)

■15歳から24歳の方、風しん予防接種はお済みですか

予防接種法の一部改正により、風しん予防接種を受けられなかった方を対象に、風しん予防接種を行っています(妊娠中の方は接種できません。また、女性の方は接種後2か月間は避妊してください)。

■対象 市内に住民登録があり、昭和54年4月2日から昭和62年10月1日までに生まれた方で、風しんにかかったことがなく、風しんの予防接種やMMRワクチン(麻疹・おたふくかぜ・風しん混合ワクチン)を受けたことがない方

■実施期間 9月30日(木)まで(受付は9月22日(月)まで)

■実施場所 委託医療機関(申込んだ方にお知らせします)

■接種料金 無料

■申込み 健康推進課窓口へ直接申込むか、はがきに ①氏名 ②生年月日 ③住所 ④郵便番号 ⑤電話番号 ⑥「風しん予防接種希望」と記入して、上田市健康推進課(☎386-8601上田市大手1-11-16)へ申込んでください。申込み後、受診に必要な書類を送付します。

「市民健康づくり講演会」と「歯がはえたら教室」のお知らせは18ページを参照。

■ポリオ予防接種(集団接種)

対象者	①	平成15年1月1日～6月30日生まれのお子さん
	②	平成14年12月31日以前の生まれで未接種のお子さん(ただし、7歳6か月未満)

※市内に住民票がある方、外国人登録をしている方が対象です。

■投与方法 6週間以上の間隔をおいて2回飲みます

■受付時間 午後1時30分～2時10分

■持ち物 母子健康手帳、予診票(赤ちゃん手帳の中にありますので、体温以外は記入してお持ちください)

■注意事項

○体温は会場で測定し、予診票に記入してください。

○治療中または経過をみている病気がある場合は、主治医に前もって相談し、診断書または意見書をもらってください。

○麻疹、風しん等接種後は4週間以上、三種混合等接種後は1週間以上経過してから受けてください。

○都合がつかない場合は、別の日程で受けてください。

会場	1回目 月 日	2回目 月 日	対象地区
中央公民館	10月1日 (水)	11月25日 (木)	中央、北部
上野が丘公民館			神科(長島、笹井除く)
川辺町会館	10月2日 (木)	11月26日 (金)	城下
神川地区公民館			神川
西部地区公民館	10月3日 (金)	12月2日 (水)	西部、塩尻
川西社会福祉センター			中塩田(下本郷、上小島)、川西
中央公民館	10月7日 (水)	12月3日 (木)	東部、南部
川辺町会館			川辺・泉田
上野が丘公民館			神科(長島、笹井)、豊殿
塩田母子健康センター	10月8日 (木)	12月5日 (金)	中塩田(下本郷、上小島除く) 東塩田、西塩田、別所

9月6日～20日 行事・イベントカレンダー

各種相談・乳幼児健康診査等については、広報うえだ8月16日号をご覧ください。

6 土	秋の野草と樹木を観察しよう▶P.16 南部クリーンパーク見学会(下之条)▶P.16 ウィークエンドリサイクル (10:00～12:00/ツルヤ大屋店・マツヤ上田店(川西)) うえだアート&クラフトフェア2003(～7日) (10:00～16:00/長池公園) デジタルビデオ講座(13:30～16:30/メディアランドUEDA) 犬のしつけ方教室(13:30～15:30/上田消費生活センター)	13 土	上級救命講習会(9:00～17:00/勤労青少年ホーム) 太陽の黒点を観察しよう▶P.16 ウィークエンドリサイクル(10:00～12:00/西友秋和店・西友三好町店・Aコープコア塩田店) 女子美術大学公開講座(13:30～/メディアランドUEDA)
7 日	塩田東山観光農園コスモス園とぶどう・りんご狩り▶P.16 上小スポーツレクリエーション祭'03 (9:00～/市宮陸上競技場・市民体育館・市宮野球場ほか) 上田市ボランティア連絡協議会交流会 (10:00～15:00/ふれあい福祉センター) ブラジル田舎祭り in 上田▶P.14 ホームページ作成セミナー (10:00～16:00/メディアランドUEDA)	14 日	
8 月	消費税相談会(～10日)▶P.10	15 月	敬老の日
9 火		16 火	
10 水	歯がはえたら教室▶P.18	17 水	親子ふれあい広場(10:00～12:00/中央公民館) 「聞いて得セミナー」▶P.16 合併を考える市民の集い▶P.8
11 木	パソコンで住所録&家計簿を作ろう(～12日) (10:00～15:00/市民プラザ・ゆう) 絵本読み聞かせ講座(10:30～11:30/図書館) 市民お気軽集會「お元気ですか?市長です」 (19:00～21:00/馬場町会館)	18 木	市民と市長の日(10:00～12:00/市役所本庁舎3階市長室) 絵本読み聞かせ講座(10:30～11:30/図書館) 市民健康づくり講演会▶P.18 市民お気軽集會「お元気ですか?市長です」▶P.7
12 金	第14回春陽会東北信絵画展(～16日)▶P.16 心と体を豊かにする健康体操▶P.17 市民お気軽集會「お元気ですか?市長です」 (19:00～21:00/神科児童センター)	19 金	AREC特別講演会▶P.14
		20 土	市民の森から烏帽子岳登山(7:45～/市民の森公園駐車場) ウィークエンドリサイクル (10:00～12:00/マツヤ上田インター店・やおふく上堀店) 粗大ごみの回収(10:00～12:00/豊殿支所駐車場) やまびこフォーラム・信州上田夏季大学2003 (～21日)▶P.15 犬のしつけ方教室 (13:30～15:30/上田合同庁舎駐車場) 真田太平記館文学講座▶P.17 デジタルカメラ&写真加工入門▶P.18